

対象作業名：間伐作業

実施者氏名：A、B、C、D

報告書作成日：平成〇〇年〇〇月〇〇日

No.	危険要因の洗い出し					リスク見積り (現状)		リスク評価 (現状)	リ ス ク 低 減 対 策	対策後のリスク 見積り(予測)		対策後の リスク評価 (予測)	改 善 に 当 た り 考 慮 す べ き 事 項	優先 順位		
	作業名	危険要因の 内容	災害に至るプロセス			可能性	重大性	リスク レベル		可能性	重大性	リスク レベル				
			～するとき	～したので	～(事故の型)になる											
1	伐倒作業	チェーンソー	作業上の支障の雑草 木を大刈りしたとき	細い枝でチェーンソー の刃が滑り	作業者の足を切る	△	△	3	①チェーンソー防護衣を着用する	○	○	1		1		
									②横に払わず縦に使う	○	○	1	チェーンソーを振り回さないように作業する	2		
									③前もって刈払機で刈っておく	○	○	1		3		
		チェーンソー	大きく曲がっている小 径木を切ったとき	よそ見をしていたら	チェーンソーが木に押されて そのまま足を切る	○	×	3	①伐倒に入る前に周りの確認をしっかり行う	○	○	1	指差し呼称をして確認する	1		
			リスク低減対策は、検討の順序に従って考える ①危険作業を廃止。作業のやり方・機械・道具等を変更 ②安全装置、保護具等の対策 ③教育等による人材対策						②伐倒途中で危険が予想される時と場合は、そこに意識を 集中させる	○	○	1	作業の全体イメージが出来てからチェーンソーのエンジンを かける	1		
											対策後のリスクレベルを確保する方法を具体的に示す ①対策後に発生する別の新しいリスクに対応する事項 ②残留リスクが増大しないように考慮すべき事項				危ない木の処理について対策を考えてから作業に入る	
															初心者教育を徹底させる	
													技能教育を徹底させせる			
		枯れ枝	伐倒するとき	枯れ枝が落ちてきて	作業者に当たる	×	△	4	①伐倒する木の古枝の状態を確認する	○	△	2	2つを併用して実施する	1		
									②落ちてこない方向から切る	○	△	2	逃げる方向を前もって決める。			
		つるがらみの木	チェーンソーで 伐倒するとき	つるがらみの上の木 が引っ張られて倒れ	その木の下敷きになる	△	×	4	①つるを切り離す	○	△	2	つるの元を探し、そのからまった木の上方でノコ、鎌を 伸ばして切る	2		
									②切る木の順番と倒す方向を十分考えて切る	△	△	3	作業者の方向に倒れてこないように工夫する	3		
									③つるがらみの木は一人で伐らない	○	○	1	数人で処理方法の方針を決め、チルホールで引いて倒す	1		
2	枝払い作業	チェーンソー	枝払いをしていたとき	チェーンソーが勢い 余って	作業者の足を切る	×	△	4	①チェーンソー防護衣を着用する	○	○	1		1		
									②木の向う側の枝を払う	○	○	1	②、③を併用して行う	2		
									③手前の枝は向こうに押してる	○	○	1	チェーンソーワークの教育を徹底させる			
		チェーンソー	小さな木の枝払いをし ていたとき	木をまたいでいたので 勢い余って	作業者の足を切る	×	△	4	①木の向う側にチェーンソーがなるように移動して枝を払う	○	○	1		1		
3	玉切り	チェーンソー	下から合わせ切りして いて	材の重さで	チェーンソーが下に押され 足を切った	×	△	4	①材を垂直に切る	○	○	1	2つを併用して行う	1		
									②危険と思われる材は支柱をたて材を安定させる	○	○	1				

リスクの評価基準

災害の可能性

可能性ランク	記号
かなり起こる	×
たまに起こる	△
ほとんど起こらない	○

災害の重大性

重大性ランク	記号
極めて重大	×
重 大	△
軽 微	○

リスクレベル

リスクの見積り	リスクレベル
××	5
×△、△×	4
○×、×○、△△	3
○△、△○	2
○○	1

リスクへの対応

リスクレベル	リスクへの対応
5	受け入れ不可能なリスクであり、即座に他の方法へ回避する必要がある
4	受け入れ不可能なリスクであり、抜本的な対策を実施する必要がある
3	受け入れ不可能なリスクであり、何らかの対策を実施する必要がある
2	許容可能なリスクであり、現時点では特に対策の必要がない(残留リスクあり)
1	受け入れ可能なリスクであり、対策の必要がない(残留リスクあり)